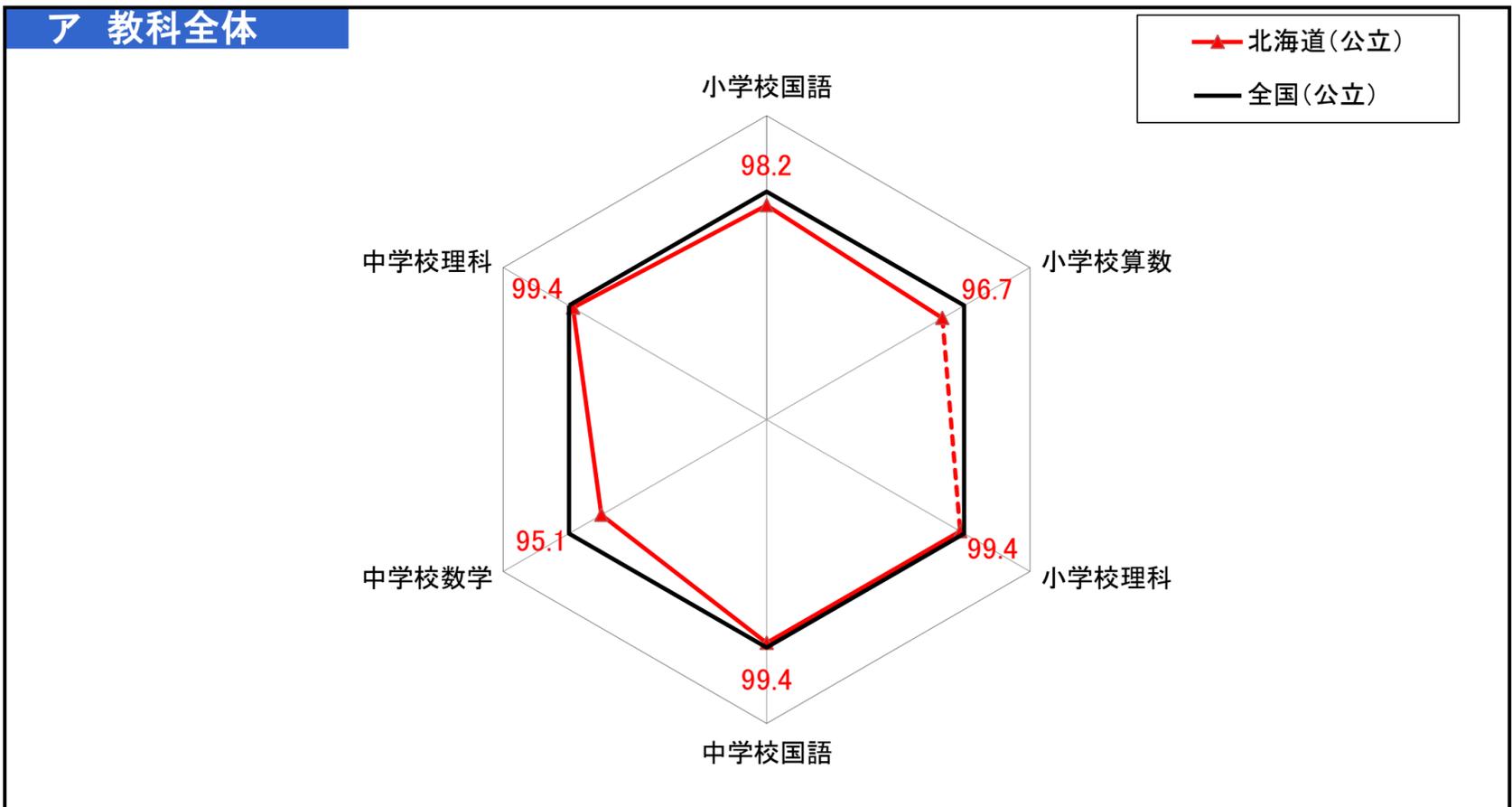


2 調査結果のレーダーチャート図

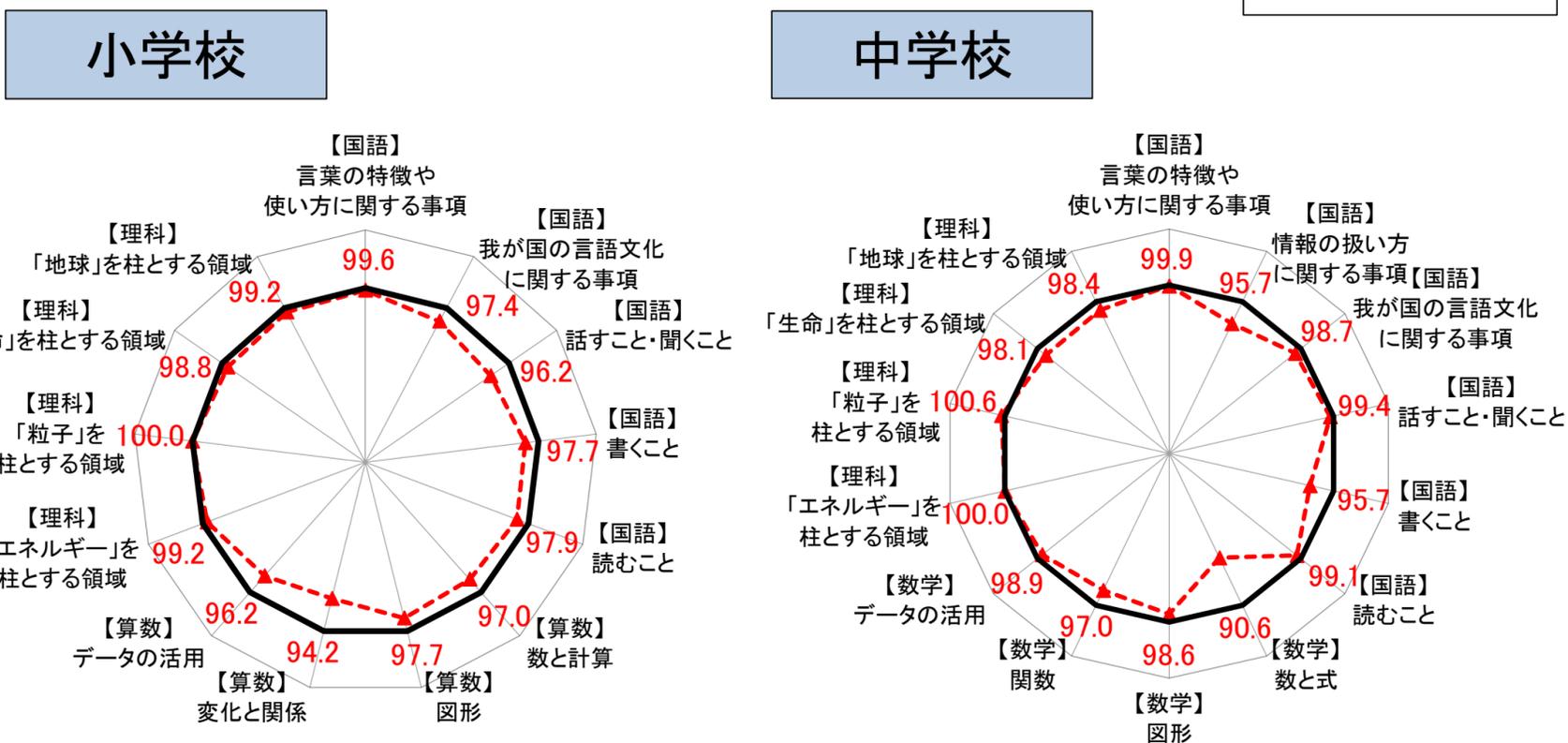
教科に関する調査における本道の結果について、レーダーチャートによる全国との比較を示しています。また、質問紙調査における本道の結果について、特徴が見られる項目を取り上げ、同様に示しています。

(1) 小・中学校全教科



◆全ての教科で、全国の平均を下回っており、中学校数学において全国との差が大きい。

イ 学習指導要領の内容・領域等



◆小学校では、算数の内容・領域等は、国語や理科の内容・領域等に比べて全国との差が大きい傾向が見られる。

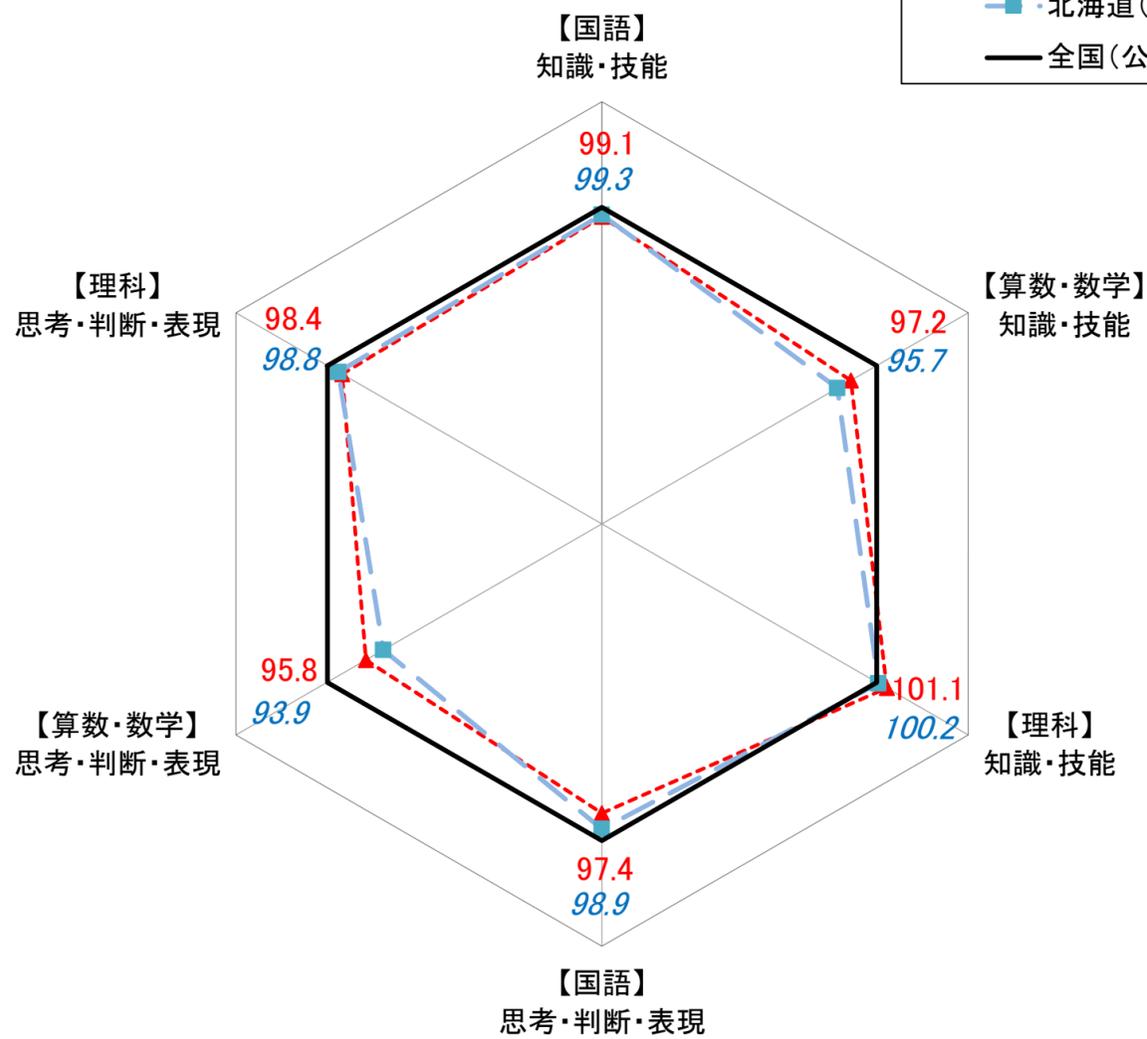
◆中学校理科の「「粒子」を柱とする領域」が、全国の平均を上回っている。

◆中学校数学の「数と式」が、全国の平均を大きく下回っている。

※ 小学校国語「情報の扱い方に関する事項」、小学校算数「測定」については、対象設問がないため、表示していない。
 ※ 数値は、「それぞれの平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出。

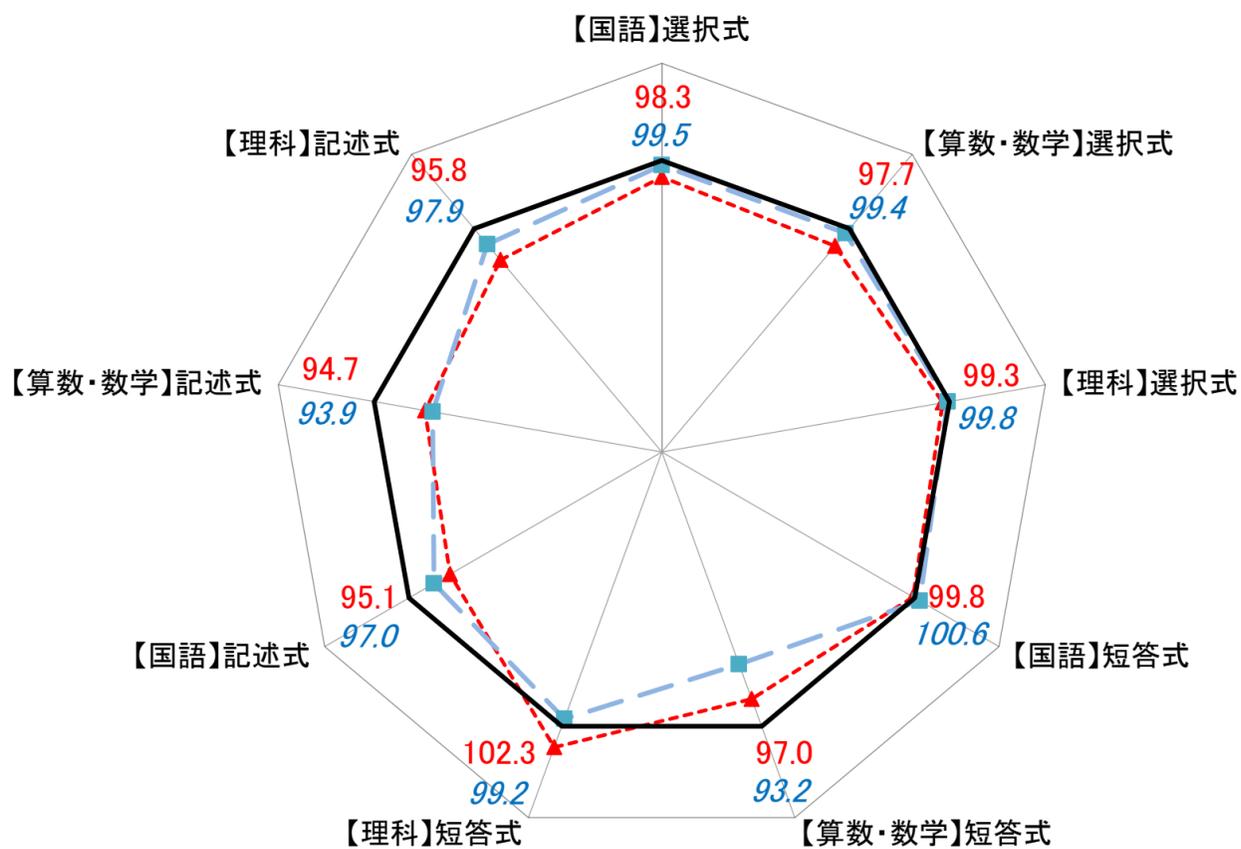
ウ 評価の観点

※中学校の数値は「斜体」



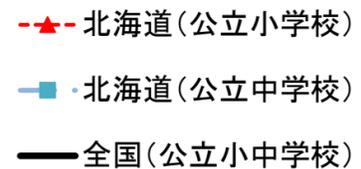
- ◆小学校理科及び中学校理科の「知識・技能」が、全国の平均を上回っている。
- ◆小学校算数及び中学校数学の「思考・判断・表現」が、全国の平均を下回っており、他の評価の観点に比べて全国との差が大きい。

エ 問題形式

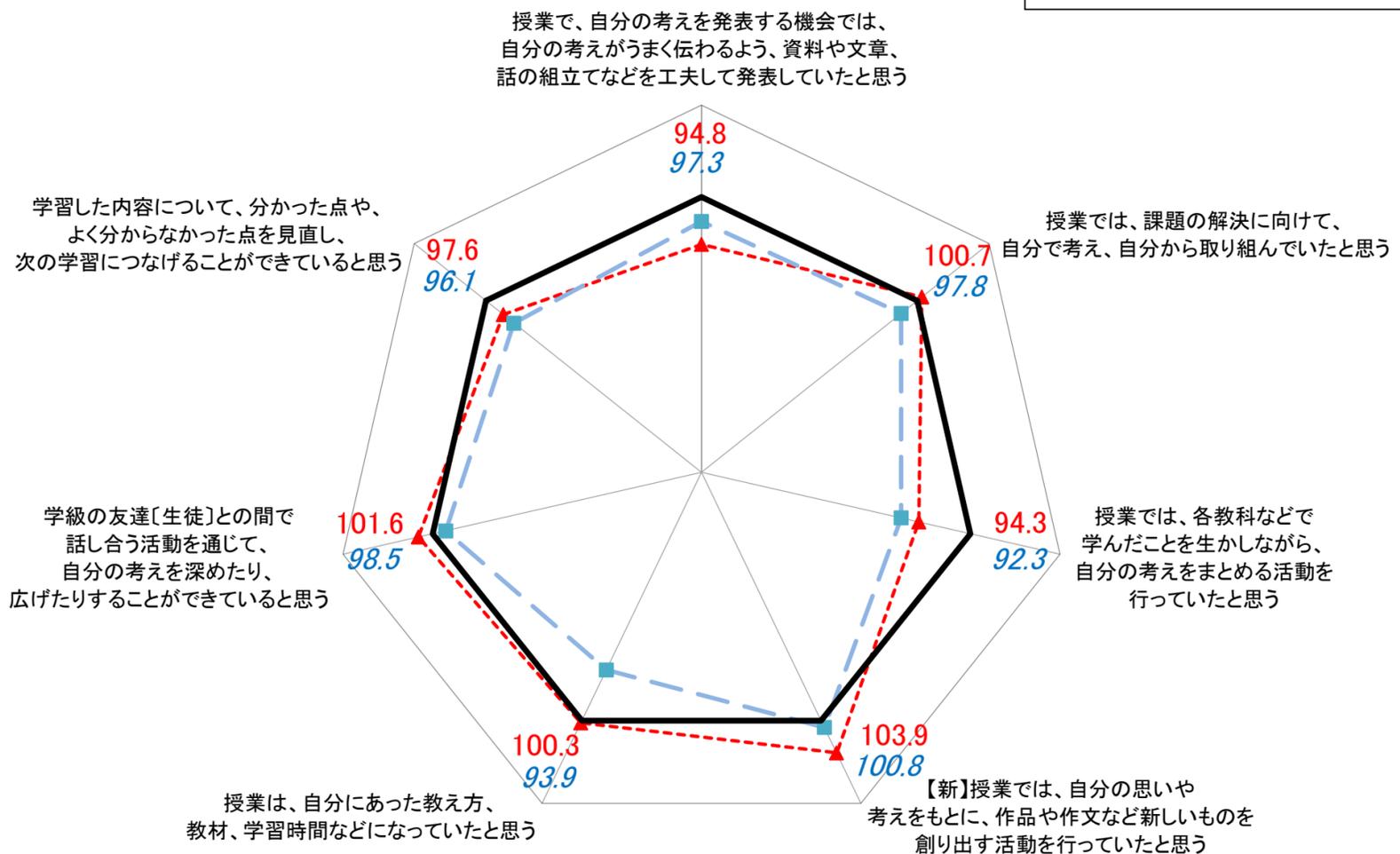


- ◆全ての教科で「記述式」の問題形式が、全国の平均を下回っており、他の問題形式に比べて全国との差が大きい傾向が見られる。

- ※ 小学校国語「主体的に学習に取り組む態度」、中学校国語「主体的に学習に取り組む態度」については、対象設問がないため、表示していない。
- ※ 小学校算数「主体的に学習に取り組む態度」、中学校数学「主体的に学習に取り組む態度」については、対象設問がないため、表示していない。
- ※ 小学校理科「主体的に学習に取り組む態度」、中学校理科「主体的に学習に取り組む態度」については、対象設問がないため、表示していない。
- ※ 数値は、「それぞれの平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100」で算出。

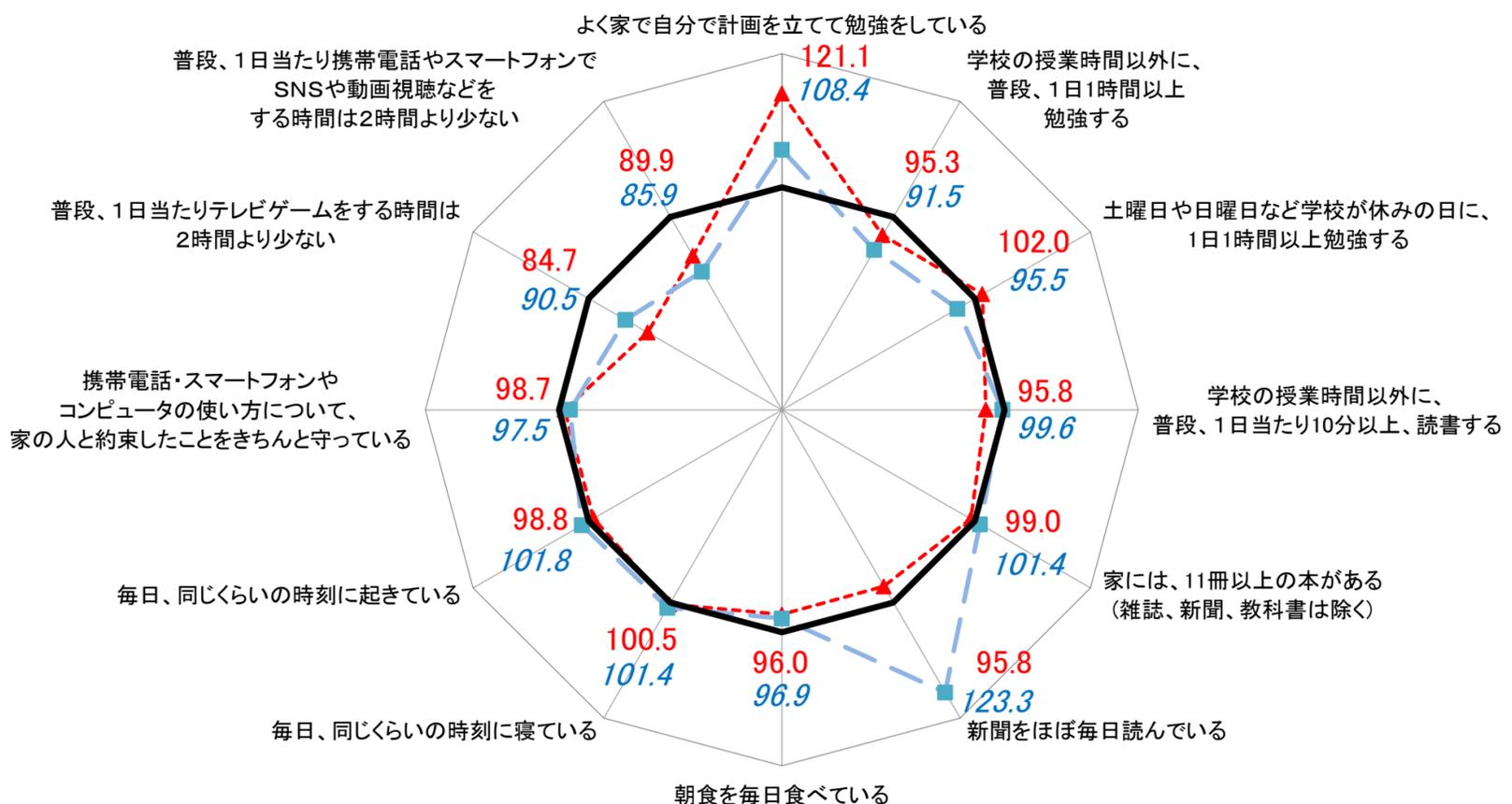


ア 学習意欲



◆授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていたと思うと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っている。

イ 学習習慣、生活習慣

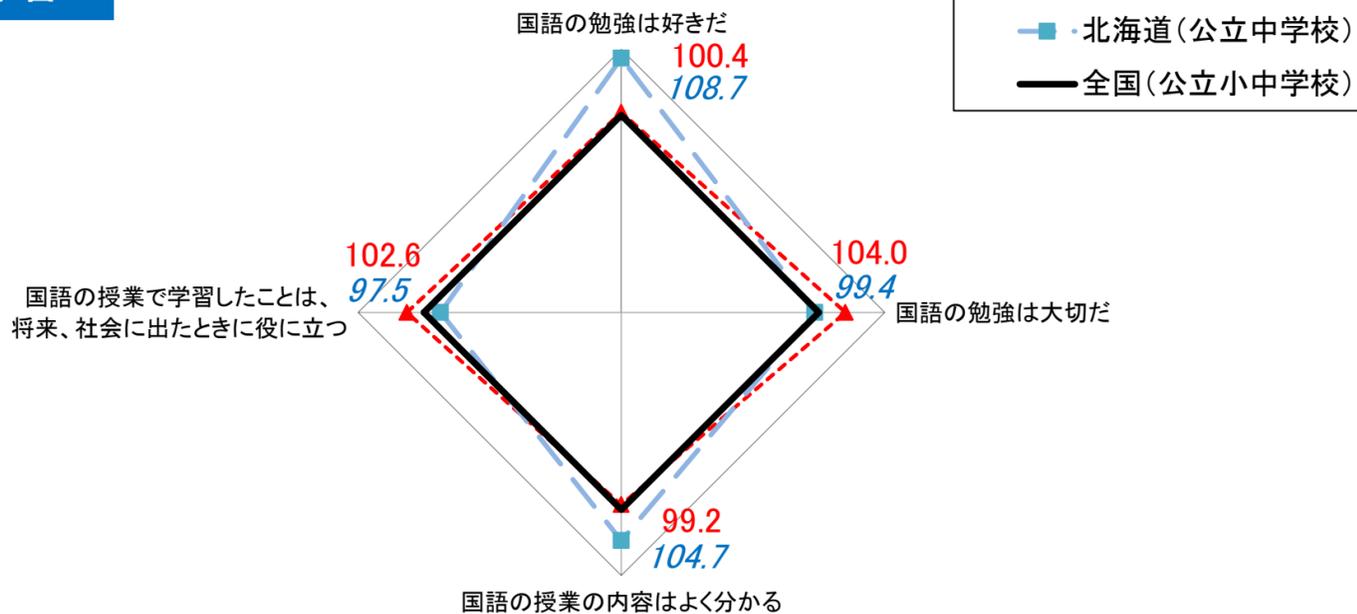


- ◆家で計画を立てて勉強していると回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っている。
- ◆新聞をほぼ毎日読んでいると回答した生徒の割合が、全国の平均を上回っており、差が大きい。
- ◆普段、1日当たりテレビゲームをする時間が2時間より少ないと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っており、差が大きい。
- ◆普段、1日当たり携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをする時間が2時間より少ないと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っており、差が大きい。

※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。

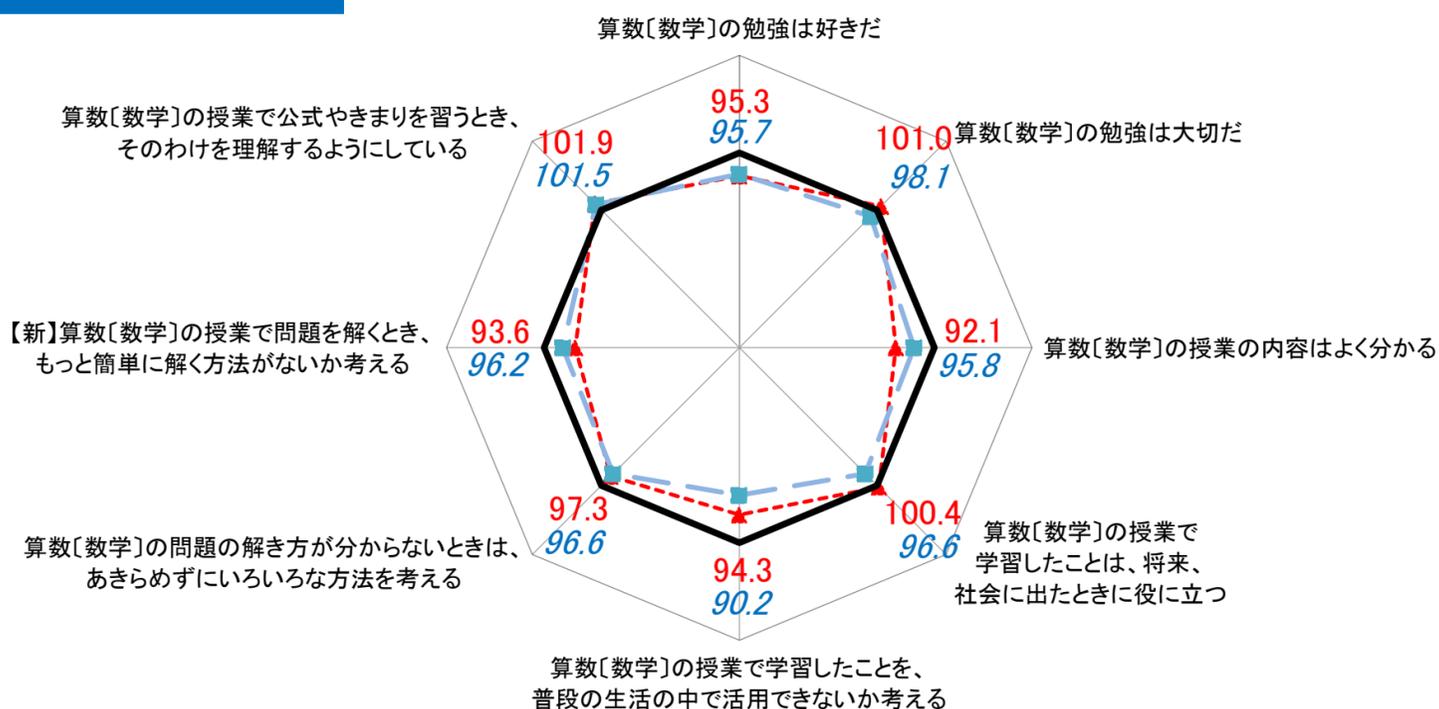
※ 数値は、「それぞれの児童生徒の割合÷全国(公立)の児童生徒の割合×100」で算出。

ウ 国語の学習



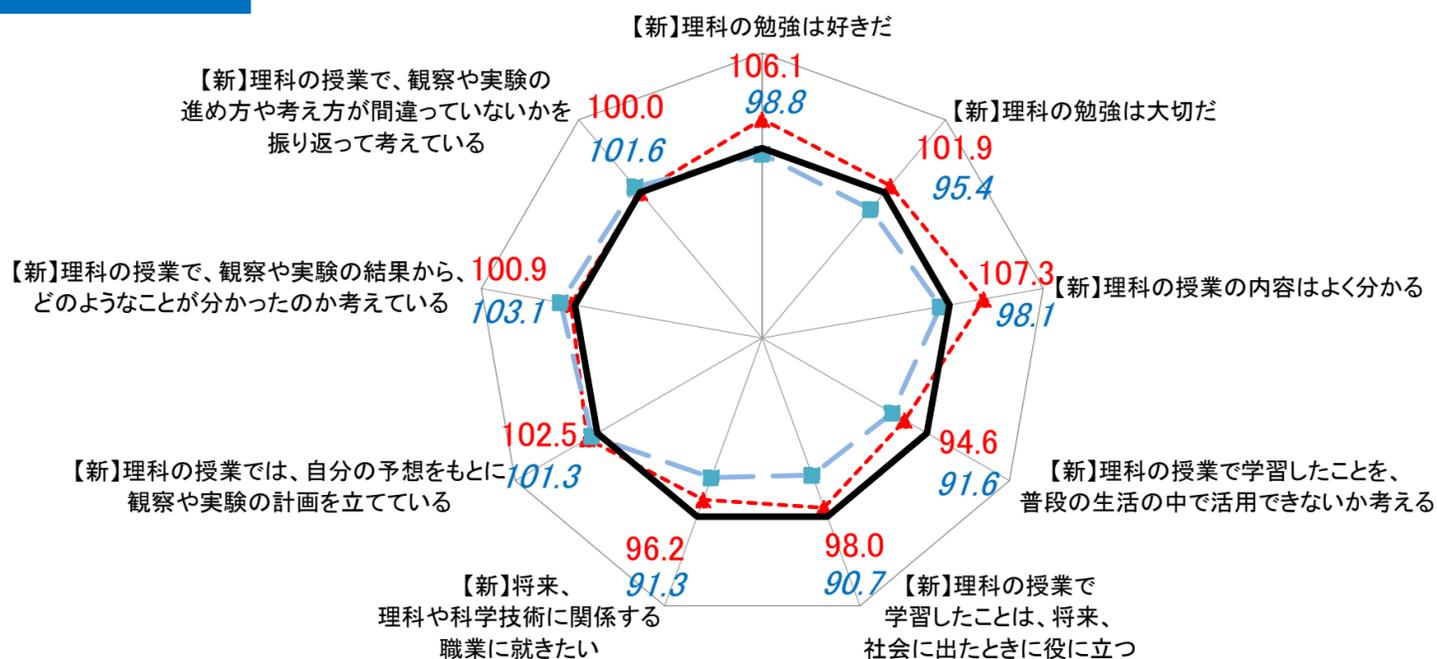
◆国語の勉強が好きだと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っている。

エ 算数[数学]の学習



◆算数[数学]の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えると回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っている。

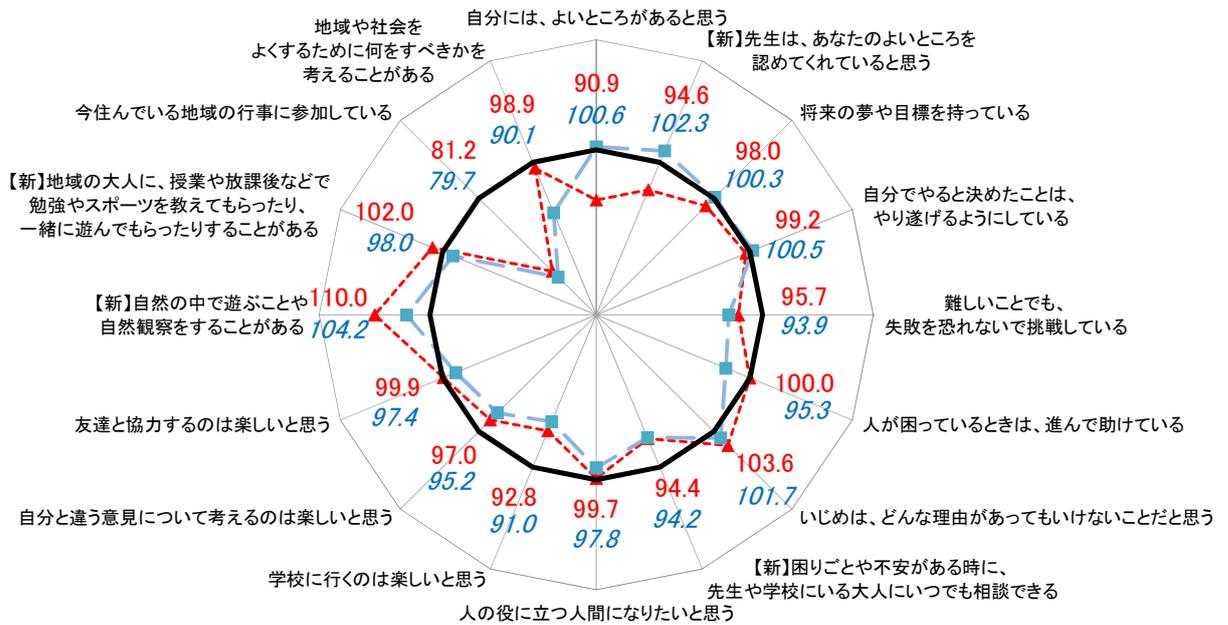
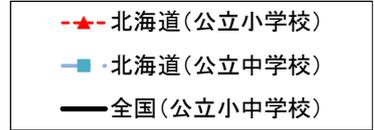
オ 理科の学習



◆理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えると回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っている。

※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。
 ※ 数値は、「それぞれの児童生徒の割合÷全国（公立）の児童生徒の割合×100」で算出。

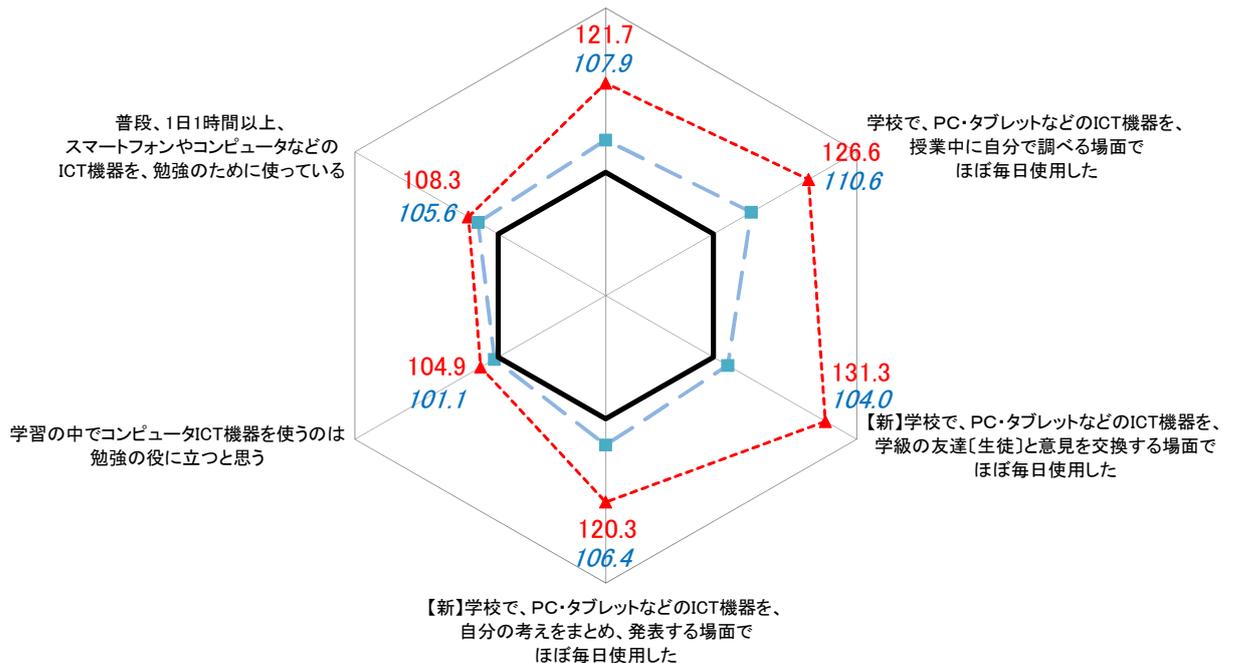
力 自尊意識、規範意識、地域社会等



- ◆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っている。
- ◆自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあると回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っており、特に小学校において全国との差が大きい。
- ◆学校に行くのは楽しいと思うと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を下回っている。
- ◆今住んでいる地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合が全国の平均より低く、小学校、中学校ともに差が大きい。

キ ICTを活用した学習状況

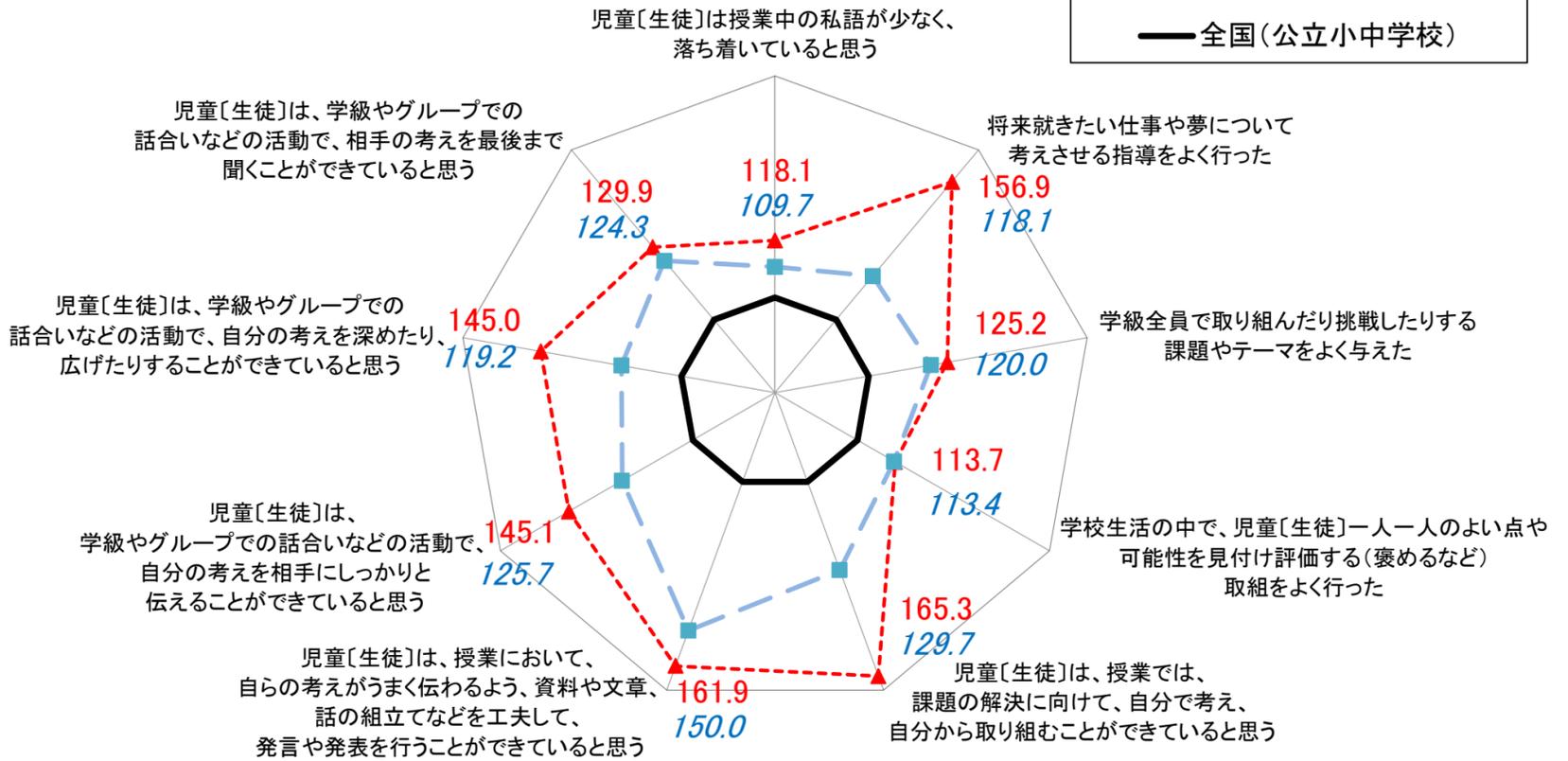
授業で、PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用した



- ◆学校で、コンピュータなどのICT機器を他の友達[生徒]と意見を交換したり、調べたりするためにほぼ毎日使用したと回答した児童生徒の割合が、全国の平均を上回っており、特に小学校で全国との差が大きい。

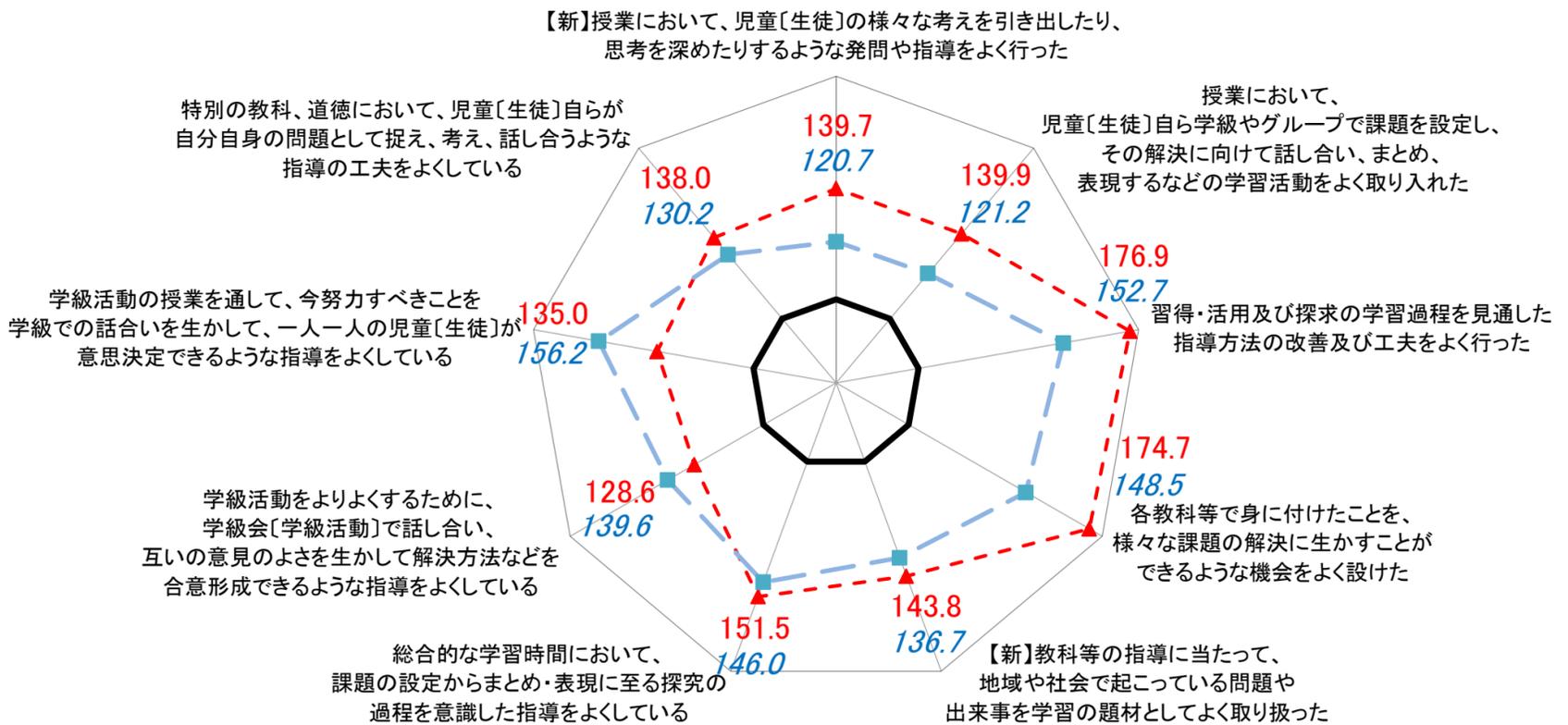
※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。
 ※ 数値は、「それぞれの児童生徒の割合÷全国(公立)の児童生徒の割合×100」で算出。

ア 指導方法①



◆指導方法①に関する全ての質問項目において、全国の平均を上回っており、特に授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思うと回答した学校の割合が全国と比べて高い。

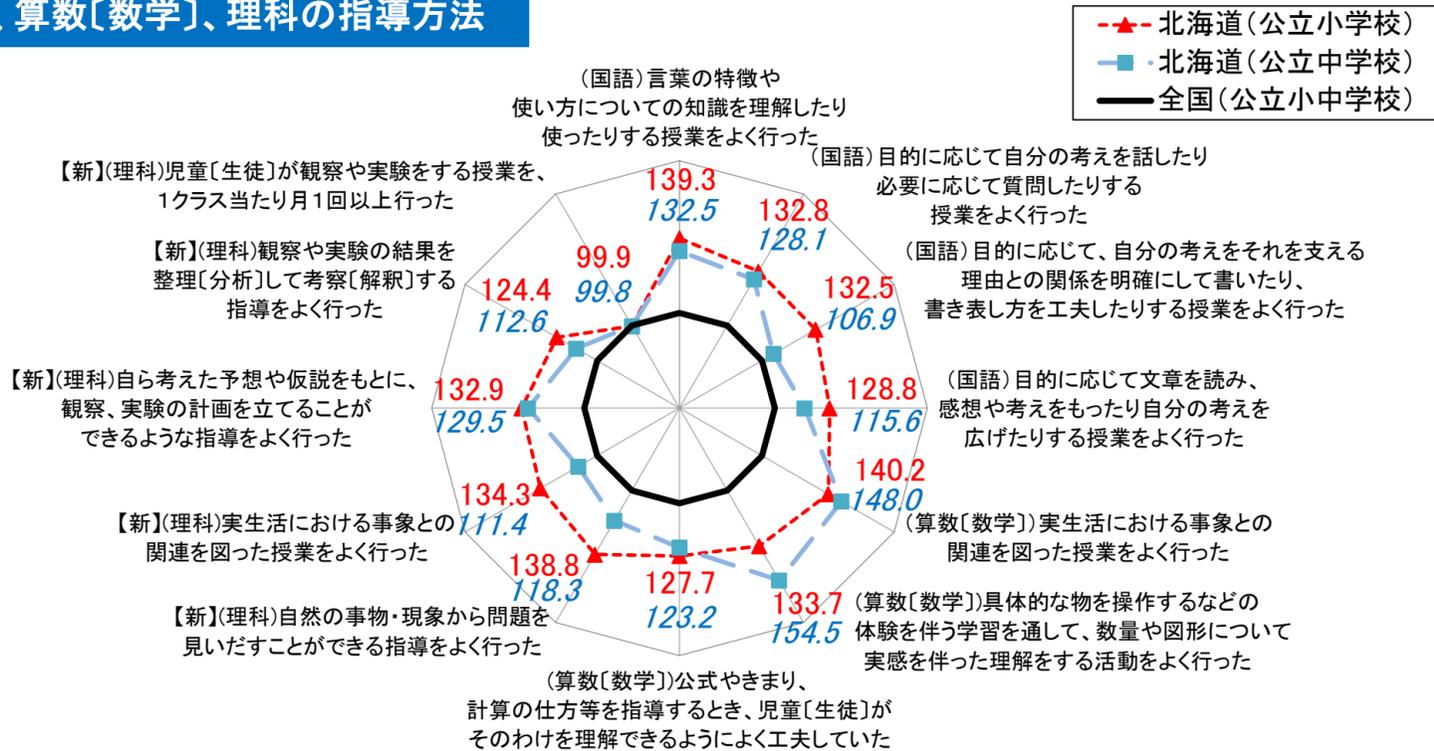
イ 指導方法②



◆指導方法②に関する全ての質問項目において、全国の平均を上回っており、特に習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行ったと回答した学校の割合が全国と比べて高い。

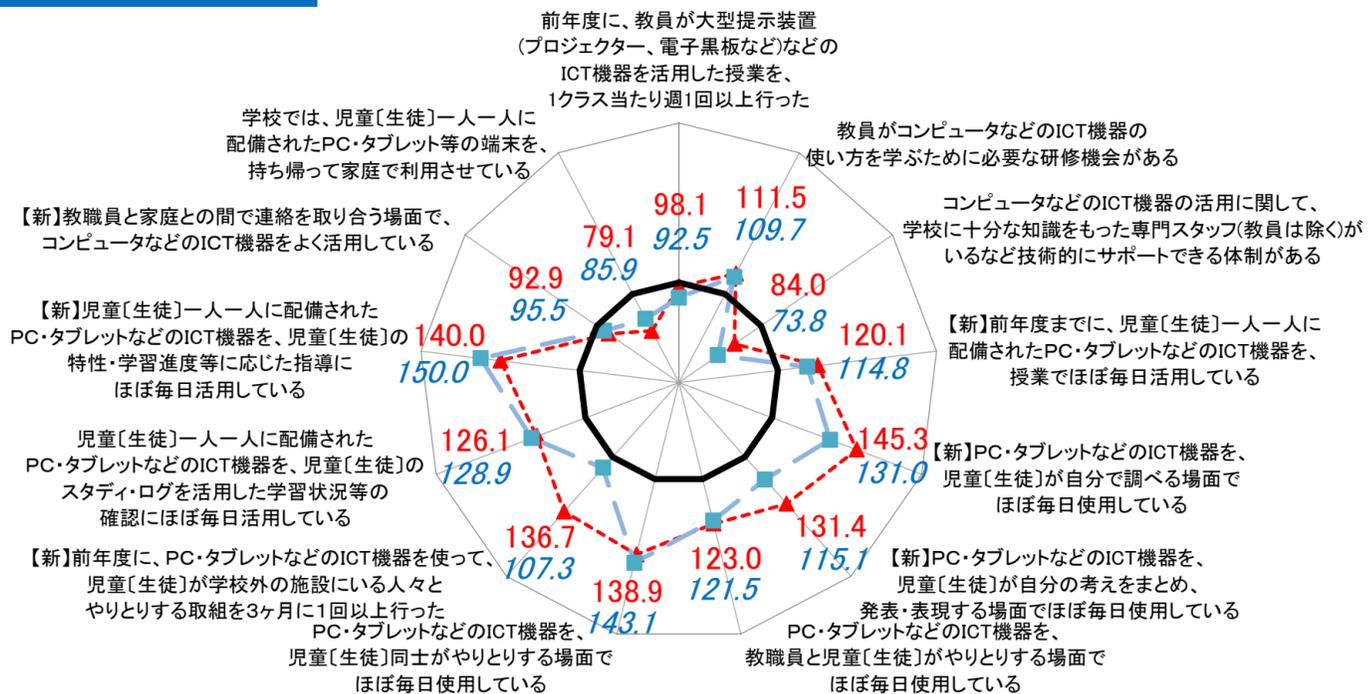
※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。
 ※ 数値は、「それぞれの学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出。

ウ 国語、算数〔数学〕、理科の指導方法



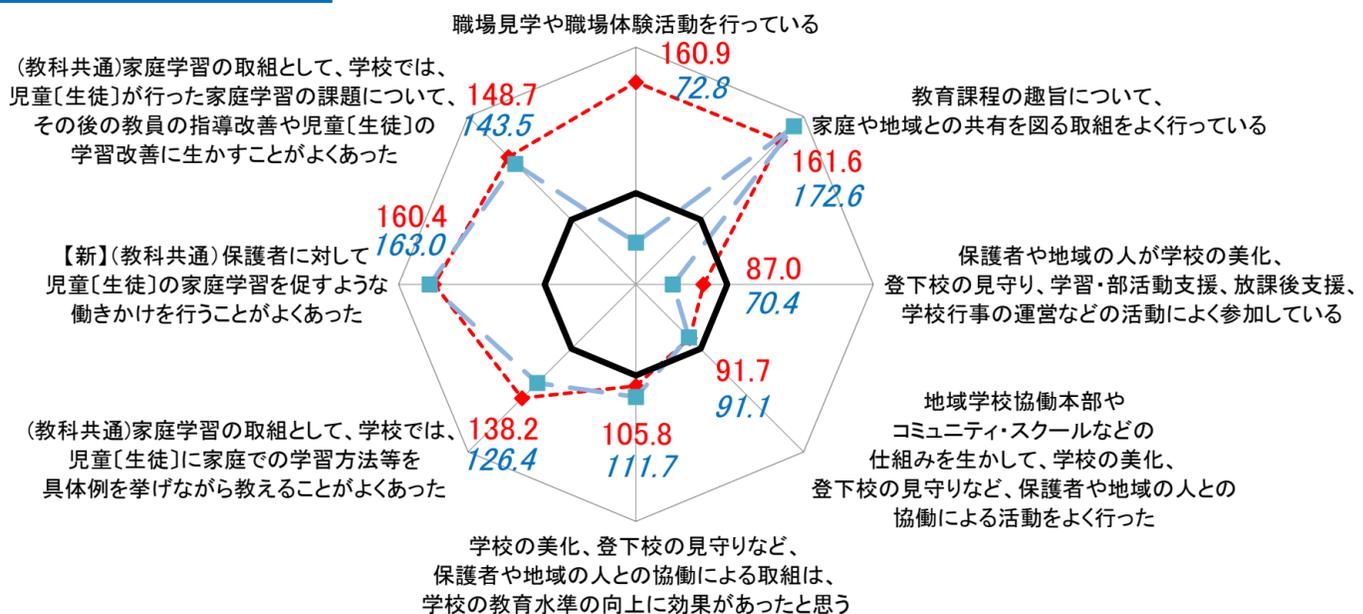
◆国語、算数・数学、理科の指導方法に関する多くの質問項目において、全国の平均を上回っており、特に算数〔数学〕で実生活における事象との関連を図った授業を発展的な学習をよく行ったと回答した学校の割合が全国と比べて高い。

エ ICTを活用した学習状況



◆学校では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、持ち帰って家庭で利用させていると回答した学校の割合が、全国を下回っており、差が大きい。

オ 家庭学習、地域との連携

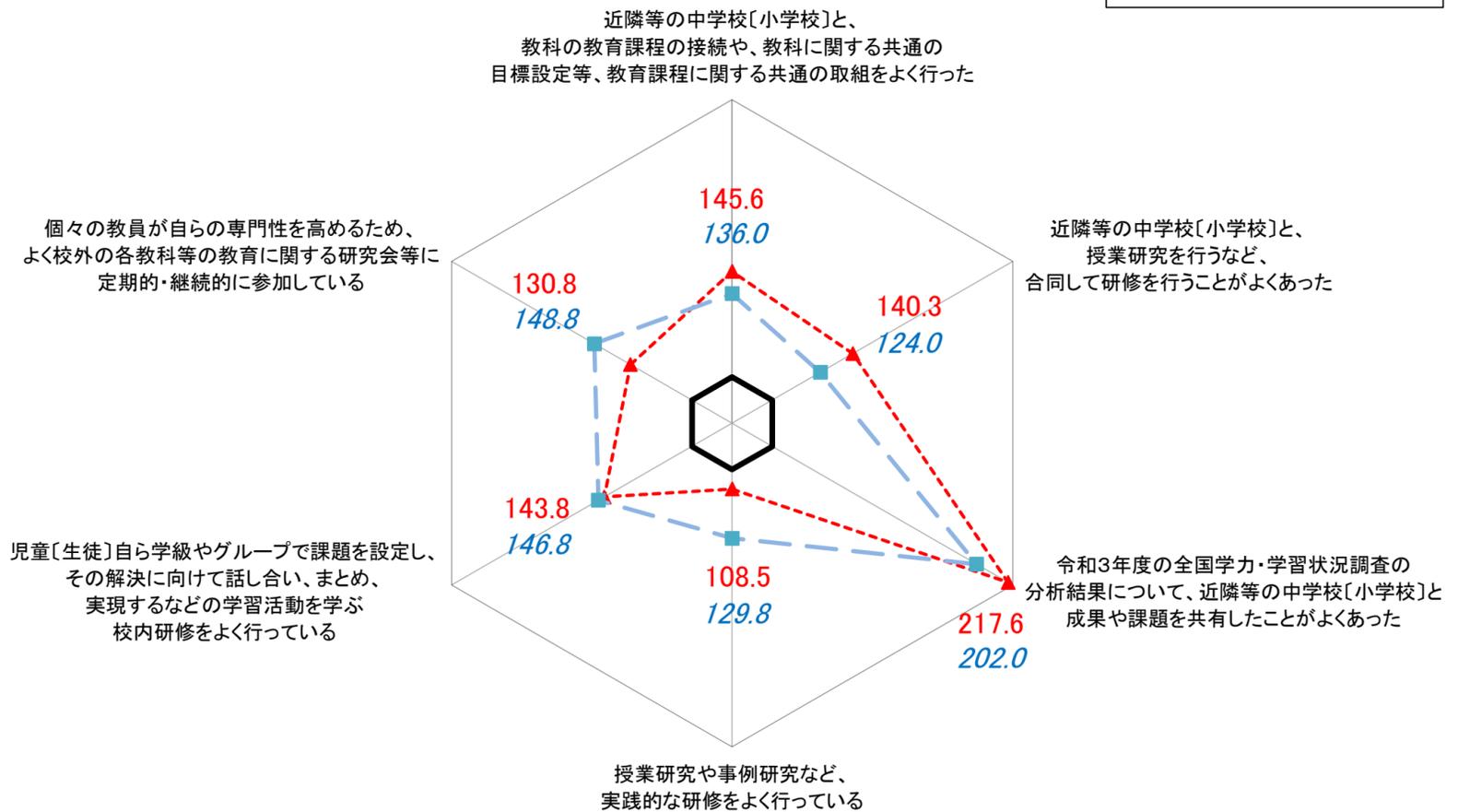


◆教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組をよく行っていると回答した学校の割合が、全国を上回っており、差が大きい。

※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。
 ※ 数値は、「それぞれの学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出。

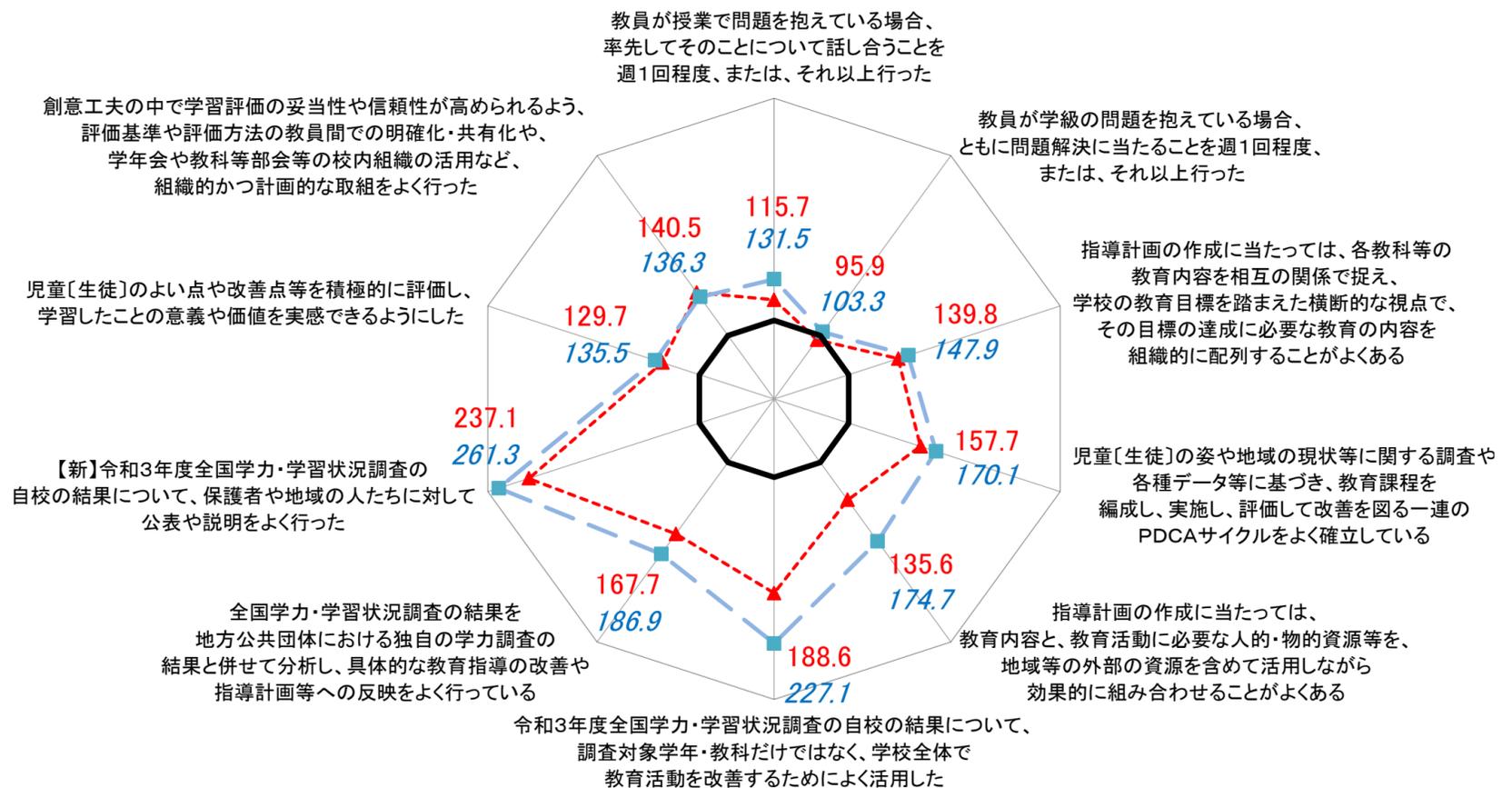
カ 小中連携、教職員の資質向上

-▲- 北海道(公立小学校)
-■- 北海道(公立中学校)
— 全国(公立小中学校)



◆全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣の中学校〔小学校〕と成果や課題を共有したことがよくあったと回答した学校の割合が、全国を上回っており、差が大きい。

キ 学校運営に関する状況、学習評価



◆全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をよく行ったと回答した学校の割合が、全国の平均を上回っており、差が大きい。

※ 【新】と記載しているものは、今年度の新規項目。

※ 数値は、「それぞれの学校の割合÷全国（公立）の学校の割合×100」で算出。